

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

事業名 リニア中央新幹線活用戦略推進プロジェクト事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園・交通局
リニア推進課

電話番号：058-272-1111(内4954)

E-mail：c11135@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 30,000 千円 (前年度予算額：30,000 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	30,000	13,553	0	0	0	0	0	0	16,447
要求額	30,000	12,596	0	0	0	0	0	0	17,404
決定額	14,000	5,604	0	0	0	0	0	0	8,396

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

リニア開業を見据えたまちづくりは、平成26年3月に「リニア中央新幹線活用戦略」を策定し取り組んできたところであるが、同戦略策定から9年が経過したことから、リニア開業効果をより高く得るため、新次元の地方分散、SDGsの達成、盛土・残土等の環境対策といった新たな観点も加えて、令和4年度に改訂を実施し、「第2次岐阜県リニア中央新幹線活用戦略(以下「活用戦略」という。)」をとりまとめた。

活用戦略に掲げる4つの新たな重点施策(※)の推進に向けた取組みを推進する必要がある。

【4つの新たな重点施策】

- ①リニア岐阜県駅及び駅周辺の「岐阜県」らしさの追求
- ②職の選択肢の拡大や教育の充実等による地域を担う人づくり
- ③東美濃の森林や伝統文化を活かし、創造性あふれるまちづくり
- ④防災や環境に配慮した安全・安心なまちづくり

(2) 事業内容

活用戦略の進捗状況のフォローアップや4つの新たな重点施策の推進に向けて、関連会議の開催等を実施する。

- ・リニア活用戦略フォローアップ懇談会
- ・岐阜県らしいリニア駅・周辺整備検討会
- ・地域を担う人づくり検討会
- ・森のまちづくり構想実現WG
- ・環境を活かしたまちづくりWG

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10（県全体の広域的な観点で検討が必要な取組みであるため）

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	2,428	フォローアップ懇談会、検討会、WG委員への出席報酬等
旅費	3,769	フォローアップ懇談会、検討会、WG委員への費用弁償等
消耗品費	1,696	消耗品
燃料費	5	燃料費
会議費	105	会議費
役務費	238	役務費
委託料	20,829	設計業務、各種調査
使用料	821	会場使用料等
負担金	109	負担金
合計	30,000	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019年3月）

(2) 次世代を見据えた産業の振興

⑤産業を支える広域ネットワーク・インフラの整備

観光・産業振興や基盤整備などリニアを活用した地域づくりを戦略的に推進する。

(2) 国・他県の状況

・「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、三大都市圏やその周辺地域をつなぐ高速かつ安定的な交通インフラとして、リニアの早期整備促進を明記

・岐阜県と同様、中間駅が設置される長野県と山梨県でも、それぞれ「長野県リニア活用基本構想」「リニアやまなしビジョン」を策定済

(3) 後年度の財政負担

活用戦略に基づき、継続的に実施

(4) 事業主体及びその妥当性

リニア開業効果を県内に広く波及させていくため取組みであることから、県が主体となって戦略を推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

活用戦略で掲げた4つの新たな重点施策を実現させ、リニア開業効果を県内全域に波及させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

活用戦略の進捗管理は、定量的な数値による表現に馴染まないことから、指標を定めることができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 2	活用戦略に基づく取組みは、リニア開業効果を全県的に波及させる手段であり、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 活用戦略の実現に向けた各種施策の目標時期の可視化、施策の進捗管理及び事業効果を検証し、必要に応じて事業の見直しを図る必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか リニア開業に向け、活用戦略に基づき、着実に施策を推進していく。
